

宇都宮市立横川中央小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分にはよいところがあると思いますか。」「先生はあなたのよいところを認めていると思いますか。」の問いに対する肯定的回答は93.6%、95.3%で、いずれも全国を10ポイント上回った。児童の自尊感情が培われてきていると考えられる。今後も、児童のよいところを認め、励ましながら指導・支援していきたい。

○「5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。」の問いに対する肯定的回答は93.6%、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。」の問いに対する肯定的回答は84.1%で、どちらも全国を約20ポイント上回った。さらに、「今、住んでいる地域の行事に参加していますか。」や、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」の問いに対する肯定的回答も、全国を約15ポイント上回った。地域から温かく見守られていることを自覚し、自分たちも地域に関心があることが伺われる。今後も、地域とともに歩む学校でありたい。

○算数に関する質問に対する肯定的回答は、いずれも全国を上回った。特に、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。」の問いに対する肯定的回答は93.7%で、全国を約20ポイント上回った。今後も児童の算数に関する興味・関心を高めるような授業を展開していけるよう、教材研究に励んでいく。

○理科に関する質問に対する肯定的回答も、すべて全国を上回った。特に「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。」の問いに対する肯定的回答は96.8%で、全国を約15ポイント上回った。また、「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。」の問いに対しては、100%の肯定的回答だった。今後も、観察や実験を大切に、その結果から考察する授業を展開していきたい。

○国語に関する質問に対する肯定的回答もすべて全国を上回った。特に「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。」の問いに対する肯定的回答は84.1%で、全国を約23ポイント上回った。今後も、国語の授業を通して、すべての授業の基礎となる言語活動を展開していきたい。

●「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の問いに対し、「1時間より少ない。」という回答が44.1%あり、全国より約10ポイント高かった。一方、「家で学校の宿題をしていますか。」の問いに対する肯定的回答100%をはじめとして、「家で自分で計画を立てて勉強していますか。」や「家で学校の授業の予習・復習をしていますか。」の肯定的回答は、全国を約20ポイント上回っている。家庭での学習習慣は身に付いてきているが、時間的には目標に達していない。授業で学習したことをさらに定着させるため、家庭学習に対する課題を増やし、家庭学習の必要性に対する意識を保護者会や学年だより等で促す必要がある。

宇都宮市立横川中央小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初め4月に、家庭学習に関する保護者あて通知をするなど、家庭・保護者と連携をとりながら、家庭学習・自主学習への理解・協力を呼び掛けることで、基礎・基本の着実な定着に向けた指導を行っている。	「家で学校の宿題をしている」に肯定的に回答した児童の割合は100%であった。自ら取り組む態度に関わる「家で予習・復習やテスト勉強などの自主学習において、教科書を使いながら学習している」に肯定的に回答した児童の割合は81.0%であった。
授業におけるめあてとまとめ・振り返りの充実	授業の最初に本時のめあて、最後にまとめを板書して確認することで、児童一人一人が本時の学習内容振り返り、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組めるようにしている。	「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」の項目の肯定的割合は、87.5%である。
話し合い活動の充実	話し合い活動に使う話し方の例を学校で統一を図るようにすることで、各学年・各クラスの実態に応じた話し合い活動を行い、対話を中心とした深い学びや広い学びを進めることができるよう指導している。	「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」の項目の肯定的割合は、84.1%である。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
教科に関する調査から、基本的な知識や技能に関わる問題では、ほぼ県平均よりも上回っているが、活用問題の中には、下回ってしまっているものが見つかった。	復習により定着を図る学習の充実	各単元の結末を中心に、学習内容のまとめや復習を繰り返すとともに、学期末には、複数単元の内容をまとめて復習することで、各単元の内容を着実に身に付けることができるようにする。また、各単元の始めには、今までの学習内容を復習する機会を設定することで、着実な定着を図ることができるようにする。